



# ながやと

渋谷区立長谷戸小学校  
令和3年3月号  
校長 佐藤 公信

## 卒業を前に

校長 佐藤公信

令和2年度も、今月で終わりを迎えます。

学校では、まとめをしっかり行い、新しい年に向けて準備を進めております。今年度もいろいろな出来事がありましたが、無事に1年を終えられますことに、保護者・地域の皆様はじめ、学校関係の皆様にご心より感謝申し上げます。

人は知らないうちに、心も体も成長するものです。自分でも気付かないよさは、まわりにいる先生や友達がしっかり見ている、様々な場面で伝えてくれます。人から教えてもらうことで、自信となり、やがて確信へとつながっていきます。多くの先生や友達と関わることで、社会性や規範意識を身に付けて、社会への第一歩を踏み出すことも学校の大きな役割だと思います。児童には、今年一年を振り返る時間を大切にしたいと願っております。

さて、長谷戸小の6年生は、とても礼儀正しいです。

朝の正門前での挨拶、廊下で会った時、6年生の教室へ私が入った時など気持ちのよい挨拶をしてくれます。みんながとてもいい表情をしていて、下級生のよいお手本になっていることをとてもうれしく思います。

3月は、別れの季節です。恵比寿の町で育った6年生も長谷戸小学校を巣立ち、中学校へ進学します。

毎年、この季節になると、私が小学校卒業を直前に控えた春を思い出します。3月に入り、だんだんと気温が温かくなり、町角では花のよい匂いがして、春の訪れとともに「いよいよ卒業だ」と、希望と不安が入り混じった気持ちで、日々過ごしていました。「中学校では、授業の進み方が速いから、ノートに書く時間を短くしなければいけない」とか、「先生だけでなく、先輩への挨拶をきちんとしなければいけない」など、担任の先生も心構えを意識して指導してくださいました。

今、6年生はどんな思いで一日一日を過ごしているのでしょうか。最後の最後まで、長谷戸小学校で充実した日を過ごしてほしいと思います。

今年の卒業式も新型コロナウイルス感染症予防のため、地域の皆様の出席はかないません。是非、6年間の思い出と共に胸をはって巣立っていく児童の姿をご想像いただき、励ましの言葉をかけてくださいますようお願い申し上げます。

6年生が蒔いた種がやがて芽を出し、花が咲き、しっかりと実を結ぶことがとても楽しみです。